

令和5年度 元石川高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上	法令の遵守、服務規律の徹底。	朝の打合せ等で事故・不祥事事例を教職員に伝え、未然防止に対する注意喚起を行った。また、不祥事防止会議では、啓発・点検資料等を活用し、職員が講師となった研修を実施し、不祥事防止に係る意識向上を図った。管理職との個別面談を通し、不祥事防止の徹底を図った。
② 職場のハラスメントの防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の未然防止。	教育委育会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、事例を基に注意喚起を行い、自分の価値観や意見を一方的に押し付けることがないように、また、同僚に対する思いやりを持った言動をすることを確認した。人権教育研修を実施し、人権感覚の醸成と人権意識の向上を図れた。
③ 生徒に対するわいせつ・ハラスメント行為の防止	生徒の人権尊重。わいせつ・セクハラ行為の未然防止。	全職員で職場のハラスメント防止の徹底に努め、職員の同僚性を高め、教職員間で気付いたことを言いやすい環境づくりに取り組んだ。
④ 体罰・不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進。不適切指導の防止。	日頃から生徒理解に努めとともに、教育相談コーディネータを中心に生徒情報の共有を図り、丁寧に粘り強い対応を行った。生徒指導については常に複数職員による指導を徹底した。また、小さなことでも管理職への報告を怠らなかったことで不適切な指導等の未然防止に取り組んだ。
⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止。	入学者選抜では、マニュアルに基づいて間違いのない業務の徹底に努めた。成績処理関係書類の作成及び取扱いについては、研修や日々の注意喚起を通して点検や確認の徹底を図り、人為的ミスが生じても事故につながらないように努めた。進路関係書類の作成では、複数チェック体制で適切な処理を心掛けた。
⑥ 個人情報管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の適切な管理及び情報セキュリティ対策の徹底	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、教務手帳や個人情報の管理及び誤廃棄防止の徹底に努めた。全職員に対し情報セキュリティ対策に関する意識の向上を図った。
⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を全職員で活用し、交通事故発生等の未然防止及び酒酔い、酒気帯び運転の根絶、交通法規遵守の意識の向上を図り、事故発生後の適切な対応について確認を行った。
⑧ 業務執行体制の確保等	業務の効率化及び事故防止。	Teamsによるファイル管理や打ち合わせの効率化により、業務の負担軽減を図るよう努めた。各業務のマニュアルを整理して業務の精選を図った。

⑨ 財務事務等の 適正執行	財務事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止。	今年度の財務事務調査指導結果を共有して、改善策を確認した。各会計担当者を中心に、経理処理の適正執行に努めた。インターネットバンキングの活用により、会計処理の手続きの効率が図れた。
------------------	-------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

令和5年度の不祥事ゼロプログラムの各項目について、行動計画に基づいて実施し、概ね達成できたと考える。これは、これまでの地道な取組みの継続が基盤となっていると考えている。しかし、不祥事防止の取組みは息の長い取組みである。引き続き不祥事の原因となる要因を発生させないように、繰り返し職員の意識の向上を喚起していかなければならない。

次年度は、教職員一人ひとりが、何事も自分事として捉え、「絶対に不祥事を起こさない」という強い意思を持って行動すること、また、不祥事を未然に防止する職場づくりを学校全体で目指し取り組んでいくことで、不祥事ゼロに向けた組織的な取組みを徹底していきたい。